

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 221 号	氏名	高谷 義博
学位審査委員	主 査	伊藤 敬	
	副 査	兼松 隆之	
	副 査	関根 一郎	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、ヘテロな表現型を有する大腸癌細胞株を用い、表現型の異なるサブポピュレーションに分離する有用な方法を確立しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ヒト大腸癌細胞株 DLD-1 を用い、8 μm ポアを有するケモタキセルの膜上に DLD-1 を播種し、膜の通過により DLD-1 のサブポピュレーションを分離しようとしたもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ヒト大腸癌細胞株 DLD-1 を用い、ポアを通過し膜裏面に接着した細胞と、ポアを通過し培養容器の底面に落下した細胞に分離することができた。分離したサブポピュレーションを経上皮電気抵抗値測定することにより、タイトジャンクション(TJ)の強度を評価した。さらに免疫染色と PCR 法により、TJ を構成するクローデインの解析を行い生物学的表現型との関連を調べた。この方法は有用かつ簡便で、臨床応用が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は癌の病態研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			